

平成 29 年度 教育懇談会における主なご意見（全会場）

第 1 部 心を育み 学びを広げる読書

1 読書の目的について

【読書の有効性・重要性について】

- ・同じ作品でも、映画やドラマで見るのと原作を読むのでは、受けるイメージが違い、またおもしろい。（教育委員）
- ・読書をすることにより自分の体験していないことを疑似体験し、様々な価値観があることを知ることができるため、人間性を養う上でも大事で家庭と連携して行うことが必要かと思う。
- ・新しい学習指導要領においては、「主体的で対話的で深い学び」というものが重視され、コミュニケーションをはかる、相手を思いやる、きちんと自分でやりきるといったことが求められる。多様な価値観や世界観を見出すという点において、読書は非常に有効な手段であると感じる。（教育長）
- ・社会に出て生活や仕事をしていく上で、学ぶ力というものは必要で、読書はとても有効な手段だと思う。（教育委員）
- ・私は老人会に所属し、認知症予防を兼ねて読むこと・書くことを励行していて、毎日写経を行うほか、日記もつけている。

【子どもたちの読書習慣の定着について】

- ・小さい頃から図書館が大好きで、夢も広がるしつらいときには勇気づけてくれることもある。今の子どもたちは、習い事や塾で忙しいので、学校で行う朝読書の 10 分間の大切さを実感している。
- ・小さい頃は本を読むということはなかったが、ある時読まなければならないことがあり、読書をするようになった。学校で毎日 10 分行っている朝読書の成果は、大人になった時に必ず出るので、積み重ねが大事だ。
- ・中学時代に先生から本を読むように言われたことがきっかけで、読書の習慣が身についたと感じている。（教育委員）

【大人の役割について】

- ・大人の役割は、子どもによい本を与えたり、読書環境を整えていくことだと思う。（教育委員）
- ・5 か月児健診において 5 冊の絵本から 1 冊を選んでプレゼントする、という事業のボランティア活動をしている。小さい頃に暗記してしまうくらい何回も読んだ本があるということは、その後の人生を豊かにすると思う。3 歳児健診でも同じような事業をしてほしいと思う。

2 学校での取り組みについて

【学校での朝読書の効果について】

- ・学校で 10 分程度行っている朝の読書活動は、読書の環境を整えるだけではなく、静かな時間を皆と共有して 1 日のスタートをきるという目的もある。
- ・朝読書により子どもたちに落ち着き、文章を読み取る力、感じる力が身についてきていると感じる。

【調べ学習で養ってほしい力について】

- ・調べ物というと最近はスマホを使うことが多いことから、図書を活用した調べ学習は、調べる力を

養う点で非常によいことだと思う。

- ・現在、情報はインターネットですぐに手に入るが、実際に本に触れ、様々な場면을想像しながら行動できるようになってほしいと感じている。

【国語の授業での題材の取り上げ方等について】

- ・子どもたちが読書をするきっかけの 1 つには、国語の教科書に出てくる題材があると思う。授業の中で取り上げられた題材が強く印象に残り、その作者の他の作品を読むことにより、子どもたちの読書が広がっていく、と考えると国語の授業は大事だ。先生方は忙しいとは思いますが、1 つの題材に時間をかけて教えてほしい。
- ・読解力だけでなく、内容を人に説明する力、自分の感想を言葉にして伝える力というものも、共通して必要な力だと感じる。公開授業においては、言語活動の充実という共通のテーマを持ち、全教科において言語能力を伸ばしていこうとする試みが見られた。自分がおもしろいと思うものをたくさん読んで感想を語り合う機会を持つなど、訓練していくことが大事だ。(教育委員)
- ・読解力をつけるためには文章を書くことも有効で、学校では様々な機会を用意することが大事だと感じている。
- ・小さい頃に家に本はなかったが、新聞から勉強することが多くあった。新聞は学ぶことが多いため、学校教育でも活用するとよいと感じる。

【学校図書館のボランティア活動について】

- ・小学校で図書ボランティアの活動をしている。読み聞かせ担当は、月 2 回ほど 1 年生のクラスで絵本の読み聞かせをする。事前に図書館で何冊か本を借り、その所要時間を計り、持ち時間 15 分にまとまるように用意している。また、本を読むだけでなく感想を聞いたりすることもある。そのほか図書室の整理担当や修繕担当もあり、できるだけ蔵書を廃棄しないように、本を専用テーブルなどで修繕している。(教育委員)
- ・学校で図書ボランティアをしていた時に、漫画のセットや新聞を置いたり、本を見えるように並べたり、古い蔵書の見直しをした。そのことで中学校の図書室が随分明るくなり、子どもたちも図書室に来るようになった。
- ・学校図書館の活動では、ボランティアの方に蔵書の補修・整理、新刊本の紹介、興味をひくような掲示物の作成などをしていただき、非常にお世話になっている。子どもたちの興味をひきつけるような工夫を凝らしていただき、子どもたちは、休み時間に図書室に足を運んでいる。
- ・学校図書館のボランティアの方の活動は、図書館司書と同じくらい素晴らしいと感じている。
- ・図書ボランティアと学校図書館専任の司書とでは存在価値がまた異なり、司書がいつも図書室にいることで大きな効果があがることから、兼任ではない専任司書の配置を要望する。
学校図書館に専門知識のある司書がいることにより、子どもたちはわからないことを聞いて、いろいろな資料・発想を得ることができると思うので、ぜひお願いしたい。
- ・司書教諭については一定規模の学校には配置しなければならず、専任が望ましいところだが、現実としては北海道教育委員会の人事配置の関係もあり、兼務となっている。(教育長)
- ・学校で図書ボランティアを行っているが、ポロポロで書棚に並べられない本もあることから、そのような蔵書を除くと学校の実際の蔵書率は下がると思う。
- ・学校図書館の蔵書率は 100%を目指して、整備している。(教育長)

3 図書館での取り組みについて

【図書館のあり方について】

- ・帯広市図書館のぶっくーる便を学校で利用している。今後もより充実してほしいと思う。
- ・子どもたちは、図書館で運行している「移動図書館バス ナウマン号」が月に1度学校に来るのを楽しみにしている。
- ・家庭では小さい時から一緒に本を読んで、本の楽しさを教えてほしい。図書館ではプチトマト（幼児向けお薦め本セット）を貸出しするサービスを行っているので、もっと広めて行ってほしいと思う。
- ・図書館には子どもが気軽に利用できる場所があり、本に触れるうちに、もっといろいろな本を読みたいと思うようになり、子どもの読書のきっかけになったと感謝している。図書館は本に親しむきっかけをつくるような場所であってほしいと思う。
- ・公共図書館で本を手に取り、おもしろい本を見つけて読むというのが楽しみだ。
- ・成人となる社員のために、生まれた当時の重大ニュースや主なできごとを調べる際には、図書館の新聞を利用している。20年前の新聞を保存している所は、他にはあまりなく助かっている。

【図書館の開館時間について】

- ・図書館の利用時間を前後1時間ずつ延長してもらえると、高齢者や部活帰りの高校生もより利用しやすいと思う。
- ・全国的には図書館の開館時間は、午前10時というところが多い。帯広市でも前日の返却本などの整理を済ませてから開館することから、午前10時開館としているが、サービスの拡充について検討する。（教育長）
- ・図書館の閉館時間について、平日は午後8時、土日・祝日は午後6時となっているが、もう少し延長してもらえたら、利用が増えるのではないかと思う。
- ・前の図書館の閉館時間は午後5時だったが、新築する際に全国の状況などを踏まえて午後8時とすることになった。土日・祝日については、当時は利用が極端に少なかったことから午後6時としているが、年数が経過したことから検討も必要かと思う。（教育長）
- ・CDやDVDは夜間専用の返却ポストを利用できないが、昼間図書館に行けないこともあるため、改善を検討してほしい。
- ・CD等は、破損等の恐れがあることから夜間返却ポストでは受け付けていないが、設備面で解消する方法があるのか検討する。（教育長）

第2部 教育全般について

1 学校施設整備について

(1) 学校には和式トイレがあるが、今の子どもたちは和式を使用することが難しく、トイレに行くことをためらってしまう心配もあることから、洋式化を要望する。

⇒（教育長）帯広市では洋式化率を全校の50%に引き上げることを目標として、小学校では約1千万円、中学校では約4百万円をかけて整備してきた。水周りを含む大規模な改修は、相当な費用がかかることから、国からの補助を受けながら年間1・2校ずつ行っている状況。皆さんの要望をしっかりと受けとめて、まだ数年はかかると思うが、進めていきたい。

(2) 川西地区は児童生徒数が増加していることから、保育所の待機児童やスクールバスの運行体制、クラス数が増えた場合の教室の確保などについて心配している。

⇒(教育長) 皆さんが心配していることを認識している。児童生徒数の将来推計を踏まえ、学校規模や通学区域、公共施設の有効活用、小中連携も視野に入れながら、検討していきたい。

(3) 台風により倒れた学校林の伐採、老朽化した教職員住宅の新築・修繕等について、これからもよろしく願いたい。

⇒(教育長) 農村地区については、管理職用の教職員住宅が必要となるため、年に1棟ずつ建て替えている状況。設備等については、ご不便をおかけすることのないよう整えていきたい。

(4) 中学校の野球グラウンドについて、バックネットの低くなっている場所から、打撃練習中の野球ボールが飛び越えてきて、近隣の住宅の庭に入ったり、屋根に当たったりして、いつか窓ガラスが割られるのではないかと心配している。町内会では補修する予算もないことから、学校にも相談したのだが、どうにかしてほしい。町内会も安心するし、子どもたちももっと思い切り練習に打ち込めるかと思う。

⇒(教育長) 担当課で状況を確認し、学校とも相談しながら対応について検討する。

(5) 居場所づくり事業のボランティアで行っている小学校は、校舎が非常に古くて寒く、先生方もマスクをしている。体育館も暖房が少ししか入らずとても寒いことから、ボイラーについて要望する。学校によって、新しいところと古いところの差があまり出ないようにしてほしい。

⇒(教育長) 設備関係は一定の期間で更新が必要で、十分に意を用いていきたい。ボイラーが止まって寒い状態にでもなれば、教育どころではないので、ボイラーも計画的に対応していきたい。

2 教育内容について

(1) 子どもが特別支援学級と通常学級で授業を受けているが、子どもの気持ちが不安定なこと、授業に個々の進み具合に応じた補助が必要なことから、教員や補助員を増やすなど、十分な補助を希望する。

⇒(教育長) 教員や補助員の配置については、学校現場でも可能な限りの努力をしていると思うが、子どもの状況に合わせて、できるだけ支援していきたい。

(2) 道徳教育が点数化されることを大変心配している。教員は研修など受けているのか。

いじめは、死につながることもあることから、道徳教育においては、人間最低限必要なこと、正しい道や正義感について教育をしてほしいと感じる。

⇒(教育長) 帯広市でも、小学校の道徳の教科書について、8発行社66冊の中から教育委員会で決定した。内容については、ある価値観を押し付けるようなものではなく、様々な立場や考え方があり、自分だったらどうするかという題材など工夫されていると感じた。

(学校) 道徳の評価方法については、点数を付けるイメージではなく、個々に応じて文章表記で評価していくことになると思う。学校でも検討しているところで、総合的な学習の時間というものも同じように行っているが、それに準じた形になると思う。学校でも研修等を進めている。

(3) 教科書採択について、ある主義主張に偏った教科書は採択しないでほしいという強い思いをもっている。

⇒(教育長) ご意見としてうかがう。帯広市でも、来年度から使用する小学校の道徳の教科書について採択を行った。文部科学省の検定を受けた教科書であることから、大きな差はないかと考えているが、1社を採択するという使命なので、4名の教育委員と合議制で採択した。

3 学校運営について

(1) 最近、教員の長時間労働の問題が取り上げられている。私は子どもたちを育てる仕事の一端を手伝いたいという気持ちがあるので、事務的な雑用などボランティアで行えたらと考えている。高齢者の力も活用するような仕組みがあったらと思う。

⇒(教育長) 国でも働き方改革をうたっていて、帯広市としても現在、学校に依頼している調査等の事務について、軽減できるものがないか点検しているところ。また、学校は、教職員だけで成り立っているわけではなく、地域住民の方、外部講師の方、様々なボランティアの方など、たくさんの方々に支えられていることから、お力をお借りすることもあると思う。

4 学校図書館について

(1) 図書ボランティアの活動において、古い本を廃棄することを許可してもらえず、本を置く場所もないことから困っている状況だ。ページがなくなっている小説や、古くて内容が変わってしまっているような資料などは、本として成り立たない。より充実した本を並べるために、速やかに廃棄すること要望する。

⇒(教育長) 学校図書館に整備する蔵書の率の向上を意識しながら、本を購入整備している。修繕して大事に使うことも必要だが、魅力ある蔵書を整備するために、可能な範囲で古い蔵書を廃棄できるよう努力したい。

(2) 図書ボランティアの活動において、シートカバーをかけたり本のラックを組み立てる作業を行うのだが、作り方がわからず困ることがある。市から作業マニュアルのようなものをもらえると、ボランティア経験がない人でもスムーズに活動に参加でき、助かると思う。

⇒(教育長) できる限り作業しやすいようにしたい。

(3) 学校図書館で新聞を購入する費用を国が補助する、という新聞記事を見た。帯広市の小中学校ではどのくらい新聞を設置しているのか知りたい。インターネットの情報は、どんどん絞られていくが、新聞は世界が広がっていくことから、新聞は、教育のよい素材の一つになると思う。最近家で新聞をとっていない家庭も多いことから、皆に同じ機会が与えられるように、学校での設置を検討してほしい。

⇒(学校) 小学校も中学校も、現在は子どもたちが新聞を読めるという状態ではない。

5 図書館について

(1) 社会人になっても文章を書いたりする上で、読書は非常に大事になってくる。仕事をしていても帯広市図書館の蔵書を利用できるよう、「移動図書館バス ナウマン号」に企業も巡回してほしい。

⇒(教育長) ナウマン号は、現在54か所の移動ステーションを巡回していて、利用者が少ないステーションは変更するなどの見直しを行っている。